

協定団体名	浅野環境ソリューション株式会社
交流行事名	アサノ Eco～ 木漏れ陽の森 間伐体験
開催日時	平成26年11月14日(金) 14時00分～16時30分
開催場所	高知県四万十市西土佐岩間地内 アサノ Eco～ 木漏れ陽の森
主な参加者・人数	浅野環境ソリューション社員の皆様9名、西土佐村森林組合5名、四万十市9名、高知県幡多林業事務所2名、高知県林業環境政策課1名 計 26名
交流行事の概要	間伐体験
当日の様子	<p>「今日は少し肌寒いので、間伐日和ですね。」と四万十市の課長が挨拶されるほど、手ノコでの作業にはもってこいの寒い一日でした。</p> <p>開会式の会場は、四万十市西土佐にあるクリーンセンター西土佐。浅野環境ソリューションが四万十市から管理を受託している施設です。四万十市西土佐支所産業建設課長、浅野環境ソリューション広島支店長等の挨拶の後、高知県幡多林業事務所の職員から間伐についての説明や安全のための注意喚起などを行いました。</p> <p>開会式後、車で30分ほどのところにある「アサノ Eco～ 木漏れ陽の森」まで移動しました。途中の車内で浅野環境ソリューションの社員の方とお話をしました。その方は、西土佐の方で休みの時には間伐をしたり、作業道をつけたりもしているそうですが、手ノコで作業をするのはあまりないそうです。今回の間伐は、貴重な体験だと言われていました。</p> <p>現場に到着すると、あらかじめ決めてあった班ごとに分かれて間伐作業に入りました。西土佐村森林組合の職員の指導のもと手ノコを使った間伐をはじめました。</p> <p>樹齢約45年、直径25cmほどのヒノキの間伐作業。受け口をつくるのも一苦労です。特に受け口の斜め切りの時は、交代しながら作業を行いました。</p> <p>ただ倒すまでの作業は大変でしたが、その分、倒れる時の音は格別でした。</p>



間伐した木の一本は、シカの被害を受けて樹皮がめくれていました。被害を受けた追い口側は、木の細胞が死んでいるためか、材が堅くなり、切るのも大変でした。切り株を見ると材は変色しています。こうした材は二束三文でしか売れないそうです。間伐を通じてシカの被害の深刻さを改めて知ることができました。

余談ですが、四万十市の職員の方の話では、四万十市では平成 25 年度、約 3,900 頭のシカが捕獲されたそうです。(高知県内の平成 25 年度の捕獲頭数は約 19,000 頭)



参加者が皆で協力した間伐作業。寒さも忘れるほどの重労働でしたが、おかげで林内が目に見えてすっきりとしました。

間伐作業を通じて、社員同士の絆も更に強まり、地域との交流の輪も広がりました。また、夜の懇親会も大いに盛り上がりました。準備をしてくださった四万十市の職員、西土佐村森林組合の皆様ありがとうございました。